



自治会だより 地域の絆

第6回

●問い合わせ 協働推進係

魅力あふれる遠賀町の自治会活動から、皆さんが思わず「いいね！」と言いたくなる素敵なニュースをお知らせします。

できることを
楽しく！

田園南区

世帯数 565世帯
自治会加入率 89.4%
高齢化率 16.5%

田園南区は、男女共同参画の意識が広がっており、現執行部は男性5人、女性5人です。

偶数月に行われる定例役員会では各組長から持ち寄られた地域の課題について、さらに住みやすく、安心・安全に生活できるようにと、話し合いを行います。行事は、年度初めに各役員の顔合わせとなる「合同役員会」、世代間交流できる「ペタンク大会」、災害時の炊き出しも想定した「もちつき大会」などを行っています。白寿会や子ども育成会の行事も活発です。これからは「自助、共助、公助」を意識した、人と人とがつながる田園南区にしていきます。



自治会役員や組長が集まる合同役員会

知りたいこと
満載！

若葉台区

世帯数 55世帯
自治会加入率 88.9%
高齢化率 38.0%

若葉台区では毎月「若葉台新聞」を発行しています。公民館清掃当番表、ごみの回収日、催しの案内、町からのお知らせ、地域の耳寄りな話題や季節の移り変わりなど、区民の日常生活に密着した、便利で楽しい紙面です。

若葉台区でも高齢化の波が押し寄せ、敬老会をはじめ、その他の催しに健康上の理由で出席できない方が増えてきました。そこで、年に3回の「ごあいさつ回り」を行っています。ごあいさつ回りに併せて5月初旬に新茶、8月には巨峰、12月には全国各地の入浴剤のプレゼントを行っています。この季節と声の便りを楽しみにしている方も多くいらっしゃいます。



新聞には地域の情報がいっぱい

健康ニ辞典

Health Dictionary

●問い合わせ 健康対策係

睡眠中の赤ちゃんの死亡原因

睡眠中に赤ちゃんが死亡する原因には、窒息などによる事故のほか、乳幼児突然死症候群（SIDS）があります。

SIDSは、何の予兆や既往歴もないまま乳幼児が死に至る原因の分からない病気で、窒息などの事故とは異なります。平成27年度には、わが国で96人の赤ちゃんがSIDSで亡くなっており、乳幼児の死亡原因としては第3位となっています。

SIDSの予防方法は確立していませんが、以下の3つのポイントを守ることで、SIDSの発症率が低くなるというデータがあります。

1 1歳になるまでは、寝かせるときはあおむけに寝かせましょう

SIDSは、うつぶせ、あおむけのどちらでも発症しますが、寝かせるときにうつぶせに寝かせたときの方が、SIDSの発症率が高いということが研究者の調査から分かっています。医学上の理由でうつぶせ寝を勧められている場合以外は、赤ちゃんの顔が見えるあおむけに寝かせましょう。この取り組みは、睡眠中の窒息事故を防ぐ上でも有効です。

2 できるだけ母乳で育てましょう

母乳育児が赤ちゃんにとっていろいろな点で良いことはよく知られています。母乳で育てられている赤ちゃんのほうがSIDSの発症率が低いということが研究者の調査からわかっています。母乳での育児が可能な場合は、できるだけ母乳育児にトライしましょう。

3 たばこをやめましょう

たばこは、SIDS発症の大きな危険因子です。両親が喫煙をする場合、両親が喫煙をしない場合の4.7倍もSIDSの発症率が高いたことが研究で示されています。また、妊娠中の喫煙はお腹の中の赤ちゃんの体重が増えにくくなりますし、呼吸中枢にも明らかに良くない影響を及ぼします。妊婦自身の喫煙はもちろんのこと、妊婦や赤ちゃんのそばでの喫煙はやめましょう。これは身近な人の理解も大切ですので、日頃から喫煙者に協力を求めましょう。

※SIDS診断ガイドライン

(第2版)を、厚生労働省ホームページで詳しく見るができます。ぜひ一度ご覧ください。

